

令和2年度 第1回経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書(令和元年度分)

1. 評価機関名 当麻町商工会 第1回総務委員会
2. 開催日時 令和 2年 6月 5日(金)
12時00分～12時30分
3. 開催場所 ふれあい交流センター輝き 2階研修室
4. 出席者
 - (1) 外部有識者 当麻町監査委員 西川 泰弘
当麻町まちづくり推進課 課長 中山真由美
 - (2) 商工会 総務委員長 長谷川浩保
総務副委員長 小西和洋
総務委員 小林 善則、澤田啓二
〃 原 尚司、中島明幸
事務局長 佐藤 文浩 経営指導員 早坂 一則
補助員 伊達千尋

5. 内容

定刻となり、事務局が開会を宣し、長谷川総務委員長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

(1) 令和元年度事業報告について

事務局は毎年度、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価・見直しを行う仕組みとして、本委員会によりPDCAを機能させていくことを説明した。

令和元年度における、経営発達支援事業の実施状況を「経営発達支援事業評価シート」【令和元年度版】により報告を行った。

I. 経営発達支援事業の内容

① 地域経済動向の調査に関すること

巡回訪問回数、経済動向情報提供について説明した。巡回訪問回数は当初の目標を大幅に下回ってしまったこと(228回)、経済動向調査については、実施しなかったことを報告。

② 経営状況の分析に関すること

ネットde記帳分析件数、経営講習会の開催、専門家派遣回数、広域連携経営支援会議について説明した。

ネットde記帳分析は20件、確定申告に合わせて実施、経営講習会は2回開催、専門家派遣は事業計画策定支援に合わせて1回2件実施、広域連携経営支援会議は後半開催されなかったこともあり5回実施したことを報告。

③ 事業計画策定支援に関すること

講習会・個別相談会の開催、講習会出席者数、事業計画策定支援事業者数、

専門家派遣件数について説明した。

事業計画策定支援に関する講習会・個別相談会は各1回開催し、講習会は10事業所11名の出席、事業計画策定支援は専門家派遣により、2事業所（飲食業者、印刷業者）行ったことを報告。

④事業計画策定後の支援に関すること

フォローアップ件数、専門家招へい回数、施策広報について説明した。フォローアップは、専門家を招へいし2回（印刷業者、養豚業者）実施、施策広報は、目標の12回を達成したことを報告。

⑤需要動向調査に関すること

需要動向調査、石北四町での調査・分析、POS情報提供事業者数について説明した。

需要動向調査、石北四町での調査・分析、POS情報の提供については、実施に至らなかったことを報告。

⑥新たな需要の開拓に資する支援に関すること

イベント参加支援事業所数、展示会参加支援事業所数、SHIFT登録者数、専門家派遣件数について説明した。イベント参加支援は1社、展示会参加支援は2社（鉄鋼業者、銘木業者）、SHIFT登録者、専門家派遣は実施に至らなかったことを報告。

II. 地域経済の活性化に資する取組

イベント（とうま蟠龍まつり）は、役場前駐車場に場所を変更したこと、天候がとても良かったことで、15,000人の来場者があり、町内の事業所が出店しており個店の商品PR、売上増加につながっていることを報告。

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

① 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する こと

金融機関との連携及び情報交換は、日本政策金融公庫と2回行ったことを報告。

近隣商工会との連携及び情報交換は、石北四町市場協議会の経営支援会議を5回開催、支援ノウハウの情報交換を行ったことを報告。

専門家との連携及び情報交換は、石北四町市場協議会幹事商工会において専門家による支援力向上研修会に2回参加し、支援ノウハウや情報交換を行ったことを報告。

②経営指導員等の資質向上等に関すること

職員の研修会等への派遣、職員会議の開催について報告。

③事業の評価及び見直しをするためのしくみに関すること

令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できなかったことを説明した。

以上説明を行い、「経営発達支援事業評価シート」【令和元年度版】の評価で委員全員が了承した。

(2) 令和2年度事業計画及び予算について

事務局から、令和2年度事業の計画についてはまだ決まっておらず、とりあえず10,000円を予算措置することで委員全員の了承を得る。

(3) 事業の評価・見直し結果の内容について

評価委員より以下の意見あり

【地域経済動向の調査に関すること】

○巡回訪問

- ・巡回訪問を積極的に実施し、経営課題の把握と経営支援に向けて、更なる取組みを願いたい。
- ・各事業所の課題をきちんと把握できる体制づくりに努めてください。
- ・令和2年度は特に課題の把握が必要だと思う。

○経済動向情報の提供

- ・情報提供に必要な事であり、取組み願いたい。
- ・訪問とあわせて、地域実情把握と情報発信を引き続き務めてください。
- ・当麻町と他町との違いの比較もあれば良い。

【経営状況の分析に関すること】

○ネットde記帳分析件数

- ・引き続き、事業計画書策定に繋がる様、取組み願いたい。

○経営講習会の開催

- ・引き続き、講習会開催により、情報提供いただき、経営支援に取組み願いたい。
- ・会員が参加しやすい体制や開催方法について検討下さい。
- ・引き続き、具体的な取組みを示しての指導を・・・

○専門家派遣回数

- ・専門家による経営分析等の活用により、具体的支援につなげて頂きたい。
- ・引き続き、具体的な取組みを示しての指導を・・・

○広域連携経営支援会議

- ・各地域との情報交換等により支援に活用下さい。
- ・各町の状況、支援策を事業者にも周知してほしい。

【事業計画策定支援に関すること】

○講習会・個別相談会の開催

- ・引き続き、巡回訪問を通じて、個社に必要な支援を行うこと。
- ・ワークシートは各々の事業所の状況を把握することができるのか。

○講習会出席者数

- ・巡回訪問等により事業者支援につながるよう努力願いたい。
- ・今後とも継続を・・・

○事業計画策定支援事業者数

- ・引き続き、個社の現状把握と改善等支援に取り組むこと。

○専門家派遣件数

- ・引き続き、個社の現状把握と改善等支援に取り組むこと。
- ・事業計画策定には、専門家の助言が必要。

【事業計画策定後の実施支援に関すること】

○フォローアップ件数

- ・フォローアップ件数の掘り起こしに、引き続き取り組んで下さい。
- ・引き続き継続を願います。

○専門家招へい回数

- ・事業者の目標達成に向けて、引き続き支援下さい。
- ・引き続き継続を願います。

○施策広報（年間）

- ・定期的な情報提供により継続して支援下さい。
- ・引き続き継続を願います。

【需要動向調査に関すること】

○需要動向調査

- ・対象事業者の掘り起こしに努め支援願いたい。

○石北四町での調査・分析

- ・対象事業者の掘り起こしに努め支援願いたい。

○POS情報提供事業者数

- ・対象事業者の掘り起こしに努め支援願いたい。

【新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること】

○イベント参加支援事業者数

- ・商品PRと販路開拓に向け、支援願いたい。

○展示会参加支援事業者数

- ・引き続き、事業者の販路開拓に向け支援願いたい。
- ・今後も事業者同士の繋がりができるよう取り組んで下さい。
- ・この事業は大変良いので、ぜひ継続してほしい。

○SHIFT登録者数

- ・対象事業者の掘り起こしに努め支援下さい。

○専門家派遣件数

- ・対象事業者の掘り起こしに努め支援下さい。

【地域経済の活性化に資する取組】

○イベントによる交流人口

- ・引き続き、イベントを通じての商品PR、販路拡大に支援願いたい。

【他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること】

○金融機関との連携及び情報交換

- ・各地域の取り組み情報等を共有により、引き続き事業者支援につなげていただきたい。

○近隣商工会との連携及び情報交換

- ・各地域の支援事例等の情報を共有並びに活用願い、事業者支援につなげていただきたい。
- ・4町の課題の違い、支援方法の違いが会員（事業者）に共有されているでしょうか。

○専門家との連携及び情報交換

- ・情報共有により支援力向上を図るなど、事業者支援につなげて下さい。
- ・情報が職員の中だけで共有せず、単に計画を消化するだけで無い事を望みます。

【経営指導員等の資質向上等に関すること】

○研修会等への派遣

- ・職員個々の資質向上並びに支援強化に向けて、研修に参加されたい。

○職員会議の実施

- ・職員間の情報共有が図られるよう、体制構築に努められたい。

【事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること】

○経営発達支援計画に係る会議の開催

- ・特になし

※令和元年度の評価については、委員の評価も自己評価と同様の評価である。

その他、事務局は意見等を求めたが特に発言はなく、第1回総務委員会を開会した。時に12時30分